

1828
2012・8/10

大阪教育

発行・大阪教職員組合
☎543-0021 大阪市天王
寺区東高津町7-11
大阪府教育会館7F
TEL 06-6768-2330
FAX 06-6768-2239
daikyoso@daikyoso.jp
毎月10日発行/1部30円
(組合員は組合費を含む)
／編集発行人・田中康寛
／印刷・関西共同印刷所

今こそ

人間を大切に する教育・社会の実現を

大津市の中学生「いじめ」自殺事件など、「いじめ」と自殺が大きな社会問題となっています。また日本の自殺者は14年連続で年間3万人を超え、1日に80人以上が自殺に追い込まれるという異常な社会となっています。とくに15〜34歳では死因の第1位が自殺です。「いじめ」と自殺の克服へ、いま教育と社会に何が求められているのでしょうか。

人間の尊厳と命が問われている

いま人間らしく生きるこの尊厳が問われています。自殺者が年間3万人を超えた98年は、弱肉強食の新自由主義「構造改革」が一気に強められた時でした。カネとモノを最も大切に、人をモノとして扱う派遣労働など、人を人として大切にしない社会風潮を上げました。

そして弱い者いじめを是認し、「効率」「成果」で人間が評価され、人間らしい労働や人間らしく

「いじめ」克服への中心問題

深刻な「いじめ」が起る根本原因

深刻な「いじめ」問題の根本原因には、子どもを追い立て、追いつめ、ストレスを増幅させている「競争と管理」、選別と切りすての教育政策が

あります。子どもたちは常に比較され、ほめられたり評価されたりすることが少なく、自分が生きていることの意味や価値が実感できず、人格を傷つけられ、全体としてひどい「いじめ」の状況に追い込まれています。

「いじめ」問題の克服へ

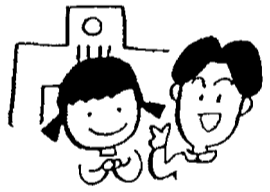
さらに子どもを人間としてではなく「人材」として扱い、教育の目的を子どもの人間的な成長・発達よりも、大企業に役立つ人材育成に変質化させる動きが強められています。

「いじめ」克服へ、こうした人間を大切にしない教育政策の抜本的な転換をめざすとともに、1人ひとりの子どもが、本来に人間として大切にされる教育になっているのか、常に自己点検していくことが重要です。

問題が隠蔽される理由

「いじめ」は、いつでもどこで起きてもおかしくない問題であり、早期の発見と機敏な対応がカギとなります。そしてきちんとした事実関係と実態の把握が、きわめて重要になります。教員評価・学校評価が強められる下で、「いい学校に見せたい」「いいクラスに見せたい」「問題がないように見せたい」と外見をつくらう方向に大きな圧力がかかっています。

「いじめ」発件数の数値目標化はその典型です。限りなくゼロに近い方がよいとされ、実態を覆い隠す隠蔽体質の温床



となつています。また失敗なしに子どもの成長・発達はいくらもかかわらず、評価システムは失敗を許さない体制づくりとなつており、子どもと正面から向き合う教育を困難にしています。こうした政策は、抜本的に見直さなければなりません。

いじめ克服の方向

―豊富な実践と経験―

① 子どもたちの自主性と自治の力を育む、子どもが主人公の学校づくりをすすめる、「いじめ」を生み出さない、前向きな集団の流れをクラスや学年につくり出していくことが重要です。そして特に「いじめ」は子どもの内面と深くかかわる問題であり、子どもたちの本音が通い合わせられる教育をすすめていくことです。そして日々の実践の中で、人間関係づくりの「へたさ」や「もつれ」を克服しながら、暴言や暴力を許さない集団の民主的な関係づくりをすす

め、いじめの構造(見て見ぬふり、あきらめ、加担)へ、発展させないよう困難にする大きな要因に

人間の尊厳をかける たたかいが、全国で発展

原発再稼働に反対する国会前の行動は、爆発的に増加し、これまで政治や社会運動とは全く無縁だった人たちが、自発的に「国民の声を聞け」と立ち上がりはじめています。さらにオスプレイ配備反対や消費税増税反対、TPP反対などでも運動が大きく広がり始めています。これらの根源

には「人間の命と尊厳を守れ」という強い願いがあります。これはとても重要な変化です。「いじめ」の社会的背景となっている、人を人として大切にしない新自由主義「構造改革」に反対する国民の立ち上がりです。そしてこの立ち上がりには「人間の命と尊厳を守る」人間の



多すぎる学級定員や、教職員不足など劣悪な教育条件があります。教職員が子どもたちとじっくり向き合い、保護者と力を合わせて課題に立ち向かうためには、30人学級実現、教職員の長時間労働解消などが急務です。

「格差拡大はダメ、競争はダメ、このような甘い言葉こそ危険」(橋下市長)

- 一人ひとりの子どもの成長・発達を自己責任に追い込み、大事にしない。
- 「格差はあっていい、秀でた者を育てていく」と格差を是認し、切りすての競争教育おしつけで「勝ち組・負け組」をつくり出す。利己主義で勝ち抜く子どもを求め、人を思いやる心、やさしい心を失わせる。
- 「数値目標」押しつけで、「目的のためには手段を選ばず、結果を出せ」と、一人ひとりの子どもの尊厳と価値を見失わせる。
- 「教育は2万%強制」と命令と強制で教育をすすめる、子どもの失敗や思春期の困難さを許さず、冷たい管理へ。脅しは「いじめ」を陰湿化させるだけ。
- 子ども、教職員、父母のストレスを、いっそう強める。

府の「2条例」は「いじめ」問題を いっそう深刻化させる

湧水

昨今の政治家の中には、矛盾した言動を平気でとる人が多い。日本が侵略されたら大変だ、万一の危険に備えるのが政治の責任だと言っている、憲法九条を敵視し、改憲を主張するくせに、万一の危険どころか、現実には大災害をもたらした原発の再稼働にはお構いなしだ▼アメリカに押しつけられた憲法だから変えなければというくせに、危険極まりない米軍機オスプレイの押しつけには一向に反対しない▼消費税を上げる前に自ら身を切る努力が必要だと、公務員の賃金引き下げに躍起となるくせに、政党助成金をもらい続けることには口をつぐむ▼大阪の某市長もひとりのだ。公務員や教職員には、徹底的に規律やモラルを迫りおきながら、自分は女性問題が明らかになっても、公的責任をどうともしない。他人に厳しく自分には甘い人間の見本だ。今後教育など語ってほしくない▼それにしても、国民を欺くため、その場その場で詭弁を弄さなければならぬとは、彼らも楽ではないだろう▼しかし、私たちは幸甚だ。教育の営みにうそやごまかしは必要ない。澄んだ眼で見つめる子どもたちに、ただ真実を語ればよいのだから。(KM)